育桜会だより

第106号
令和元年12月17日
発　行
奈良教育大学
附属中学校
育桜会
編　集
広　報　部
印　刷
(有)山田印刷

2019年度「文化のつどい」
『オキザリス』

～個性の花で附中をイロドれ！
つなげよう未来へ～

9月26日（木）・27日（金）

テーマに込められた附中生の思いは？

オキザリスは、花の名前で、『輝く心』・『喜び』・『決して あなたを捨てません』などの花言葉があります。お互いの個性を尊重し、助け合い、団結することで、一人ひとりが輝き、新しい「附中の花」を全員で咲かせ、その経験を自分の将来に活かし、未来の附中生に受け継いでもらい、未来へつなげたいという思いも込められています。

3年 劇

1組「Alice」

2組「ヒヤシンス～あなたに想いを～」

3組「ロミオとジュリエット」

4組「Mystery Wedding」

先生の感想

- 大道具がなかなか出来なかったので、ヒヤヒヤでした。
- やる気の問題など、意思統一の難しさを感じました。
- 生徒に火がつくのが遅かったですが、火がつくと、集中力はすごかったです。
- 劇直前の教室での緊張感と、やるぞ！という気迫がすごく、皆でやりきりました。
- それぞれの分野で全員が動き、想像できない程、本番でスムーズにいきました。
- 保護者から、「生徒全員が動いている感じがしました」との声を聞き、うれしくなりました。

1年 合唱

1組「小さな恋のうた」「スパークル」

2組「Lemon」「夏色」

3組「あとひとつ」「パプリカ」

4組「心の花を咲かせよう」「世界に一つだけの花」

先生の感想

- アカペラにチャレンジし、歌えるまでに苦労しました。
- 手拍子が合わなくて困りました。
- 拍手を頂いた時の充実したみんなの笑顔がよかったです。
- 最後に皆で手をつなぎ一礼した事が一番心に残っています。
- 本番で大声を出すことが出来てよかったですが、大声に対して観客がポカ～ンとして、出鼻をくじかれた感じでした。

5組

「スーホの白い馬」

5組作品展

先生の感想

- 体育館でのたくさんの観客の前で、全5組としての力を発揮し、全校と交流を深めることを目標にして、「毎日練習を積み重ねる」・「緊張感を乗り越え、一人ひとりの役割を果たす」を目的に、発表まで大変でしたが、がんばりました。
- 自分の役割を果たすことの大切さもわかり、上級生が下級生に励ましの気持ちを持って全5組が協力し、舞台で精一杯の力を出すことができたことが、一番心に残っています。

5組の生徒の感想

- 自分は、やさしくて強い気持ちの役柄だったので、その気持ちをがんばって作りました。
- 5組みんなで出来て、よかったです。緊張しましたが、がんばって成功しました。
- 自分はいじわるな感じの役ですが、もし自分がいないと、この劇は成り立たないので、プレッシャーがありました。がんばりました。
- 3年は、裏方としてみんなを支え、見えないところでもがんばりました。

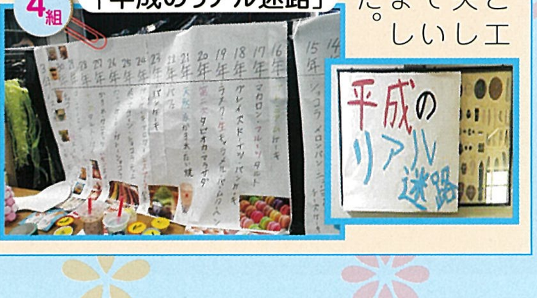
2年 展示

1組「Cool JAPAN」

2組「MAGIC」

3組「いらっしゃいませ」

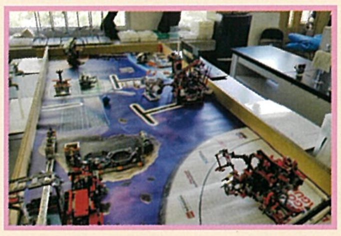
4組「平成のリアル迷路」



先生の感想

- 竹を切ったり、暗いスペースを作るのに生徒は頭をひねりました。
- 生徒の計画力のなさが大変でした。
- みんなの手品をしている姿は、とてもかっこよかったです。
- 自分達でうまくやっていってくれました。
- お互いに、ほめあっていました。
- 2日間で500名を超える方々が来てくれて、うれしかったです。生徒たちも喜んでいました。
- 保護者や生徒から、「楽しかった」、面白かった」という声を聞けたことが、一番心に残っています。
- どのように展示すれば見やすくなるかなど色々と工夫していました。

各部



科学部

料理・手芸部

裏山クラブ

美術部

音楽部

レッツ チャレンジ

- 掲載されている写真に、みなさんやお友達、またみなさんが作成した「垂れ幕」やいろんな作品が写っていますか？ぜひ探してみてください！
- 校章の由来をご存知ですか？裏面にて！

有志発表

歌あり、ダンス有りで、とても盛り上がっていました。歌を聴いて鳥肌が立ったという生徒もいた程のすばらしさ！

有志による、歌やダンス！！

大好評 喫茶コーナー

後援会主催の喫茶コーナーも図書室にて設けられ、季節の和菓子や洋菓子（キッシュは卒業生の方のお店から仕入れています）・軽食や、一杯ずつ点てるお抹茶（中嶋先生力作の茶碗も使われていました）もあり、また後援会の方々のお手製のランチョンマットや花等が飾られ、保護者の方々が和やかに歓談したり、大好評でした。

季節の和菓子など多くのメニュー

バザー報告

文化のつどいでの育桜会主催のバザーへのご協力有難うございました。多くの方にお越し頂き、お蔭様で盛況のうちに終えることができました。たくさんの提供品をご協力いただき感謝申し上げます。

収益金は、Eるーむのポータブルホワイトボードの購入など子供たちの学校生活の充実に役立てていただきます。

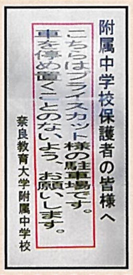
収益金	**123430円**
寄付金	**55519円**

おめあての品物は、あったかな？

ボランティア立哨

近隣店舗でのボランティア立哨も、保護者の皆様のご協力で、無事終えることが出来ました。ありがとうございました。

引き続き、近隣店舗への駐車は、ご迷惑となりますので、ご遠慮下さいますよう、よろしくお願い致します。


附属中学校保護者の皆様へ

こちらはプライスカット様の駐車場です。
車を停め置くことのないよう、お願いします。

奈良教育大学附属中学校

★広報部からの一言！

- 2日間、展示や発表を見て回り、楽しめました。 M.K
- 2日間、素敵なステージと展示を楽しめました。 A.K
- 日常に芸術表現できる幸せ Y.M
- どのクラスも素敵でした！ N.Y
- みんなすばらしい！ 広報部長 H.O

親子清掃

生活安全部 部長 黒川 和明

夏休み最後の日曜日。8月25日に毎年恒例の親子清掃を行いました。

連日不安定な天候が続き、屋内外の2パターンを考えながら迎えた当日。若干曇り空ではありましたが雨にも降られず、保護者96名、生徒90名、教職員13名の合計199名もの方々にご参加いただきました。

暑い中、みなさん、はりきっての親子清掃

「テニスコート～校門～狭岡神社までの土手や溝回り」「テニスコート回り」など、7ヶ所に分かれ、「草刈機やカマを使っての草刈り」「刈った草を運ぶ」を繰り返し、皆さん汗だくになりながら精を出してくださいました。1時間30分と限られた中、事故やケガもなく無事に終了できたことがなによりでした。

気持ちよく2学期を迎えられたのも皆様のご協力のお陰と感謝申し上げます。

きれいになったので、心もリフレッシュ！！

2019 芸術鑑賞会

8月30日、奈良教育大学講堂にて、始業式後、芸術鑑賞会が行われました。芸術鑑賞会は、演劇、伝統芸能、音楽等が3年サイクルで催されています。

今年は、関西芸術座の「遥かなる甲子園」という演劇でした。

舞台は、沖縄で風疹が流行し、その時に生まれた聴覚障がい児のために設立された、期間限定のろう学校の高等部。純粋に「野球がしたい。高校野球で甲子園を目指したい」彼らの目の前に立ちはだかる様々な困難。それを、一つずつ皆の努力と協力で乗り越えていく素晴らしさ。劇中何度も心を揺さぶられ、惹きつけられ、涙腺を刺激されました。この演劇を通じて、仲間の大切さを感じました。

今年も、このような貴重な経験をさせて下さり、関西芸術座の皆様、学校と教育後援会に感謝です。

甲子園をめざして、夢をかなえよう～

全附P連研修会の報告

育桜会会長 小林寛樹

10月4日、5日に行われた研修の一日目午前中に臨時総会が開催され、全附P連の公共性をより高めるために法人化する決定が行われました。

同時開催でアイサポーター研修という島根県が創設した障がいについて、まず知ることから始めようという研修が行われました。

午後には基調講演でパラリンピック競泳の金メダリスト河合純一氏による、不自由さを社会がつくりだしているという視点について講演があり、その後の分科会ではいじめの予防と情報モラル・リテラシーについて学びました。ネットいじめについては2003年には問題が認識されており、これからの課題ではないことを再認識しました。

2日目の基調講演は、宮崎緑氏による歴史観の学びの中から、このような歴史背景の中で生きていくのだという前提の中で、自ら問題を発見し解決する力をつける学びの大切さを確認しました。

最後に中室牧子氏による学力の経済学の中では、学校において長期にわたる財産としての資質形成と、社会全体としてトライ＆エラーを許容していくことの重要性を学びました。研修会はPTAとして今、こういうことを学び、考えてはどうかということがプログラムされています。

東京は参加のハードルが高いですが、春と秋に開催される研修会は親御さんであればどなたも参加できますので、ぜひ一緒に勉強できればと思います。評議委員会便りでご確認ください。

2019 教育研究会

教育研究会とは、授業実践の具体化やカリキュラム開発について、学校教員・学生・研究者へ広く公開されるもので、今年は年4回の開催になります。

11月14日（木）に行われた3回目においては、「ディープな」アクティブ・ラーニングの構想、というテーマに基づき、地域の文化・生活・産業などに着目し、附中生が奈良めぐりで行った事柄をそれぞれの考えでまとめ、ホワイトボードやプロジェクター、タブレットなどを使いながら発表していました。

ホワイトボードを使っての発表で～す

例えば、地元で生産されたものを地元で消費する「地産地消（ちさんちしょう）」で、奈良県産の野菜は流通コストもさほどかからないのに、なぜスーパーでは片隅での販売になっているのか？という疑問や、農家の方の苦労など、いろんな面に着目し、新しい学びの形を実践していました。

プロジェクターを使っての発表で～す

社会見学 写経体験とおそば 京都

文化体育部 部長 甲原 晴永

身を清めて、いざ写経へ！

10月25日（金）、39名の参加者が、京都・泉涌寺雲龍院にて、写経体験をいたしました。

小雨の降る日でしたが、その雨がかえってお庭の美しさや静寂さを感じさせてくれました。丁子、塗香、洒水、香象でお清めを行い、お堂の中へ。皆さんお子様の進学やご家族への想いを胸に、真剣な面持ちで取り組んでおられたのが印象的でした。

写経は、お寺にお納めさせていただきました。写経後は、お庭を眺めながらお抹茶とお菓子を頂きました。日常の喧騒を離れて、それぞれに静かなひと時を過ごせました。

ごちそうを前にして…、そのごちそうとは？

その後は、『そば茶寮・澤正』さんへ移動し、懐石を頂きました。

昭和初期に建てられたという迎賓館の一室でのお食事に話は盛り上がり、和やかな時を過ごさせて頂きました。

最後には、店主から建物に使用している材木や当時の家造りに関する興味深いお話を伺い、改めて京都の歴史の奥深さに感動を覚えた一日でした。

ごちそうさまでした

附中の豆知識

附中の校章に関して

奈良県、奈良市の花でもある奈良八重桜をモチーフにしたものです。

もともとは附中の学生帽（今は被っていませんが、かつては男子の制服の一つとして学生帽がありました。）の帽章で、それを後に校章に指定しました。

合同講演会報告

「子どもの思春期を考える」

講師 古川秀明先生

学校保健委員会委員長 中井 知子

10月8日（火）に、育桜会・生活安全部・学校保健委員会合同講演会が開催され、古川秀明先生（臨床心理士・カウンセラー）にお越しいただきました。前半三十分は一年生及び保護者対象、後半は保護者のみ対象の二部構成。前半は、一年生への事前アンケートに基づく、古川先生オリジナルの、一年生から親へのメッセージソング「きつい うるさい くどい」をご披露いただきました。会場では笑いあり涙あり、また後半では、思春期の子どもへの接し方について、短い時間で多くの内容をお話いただき、大変楽しく有意義な時間を過ごすことができました。詳しい報告については、「学校保健委員会だより」をご参照ください。

笑いや涙で、保護者は夢中…

2学期は、たくさんの行事があったね！

編集後記

テーマを『行事』として、いろんな行事の写真を出来る限り多く掲載しました。附中の「ライフレター」として、ご一読下さい。今後共、よろしくお願いします。

本誌の発行にご協力いただいた皆様方に、広報部員一同、感謝申し上げます。